

7月の園だより

(8月合併号)

学校法人 鶴来学園
鶴来第二幼稚園

7月といえば七夕の季節です。幼稚園の七夕飾りにも子どもたちのたくさんの夢が記されていました。「ばあちゃんとじいちゃんがよくなりますように」と家族の幸せを願ったもの、「けーきやさんになりたい」と将来の夢を書いたもの、そして「きゅあえーるになりたい」「かめんらいだーびるどにへんしんできますように」などヒーローやヒロインに憧れたもの、なかには「ドラえもんになりたい！」という微笑ましい夢もありました。

七夕の日は恐らく一年でもっとも多くの人々が星空を見上げ、夢や希望や幸せを願う日ではないかと思います。私は毎年、夏山の白山に登るのですが、標高2000m付近で見る夜空にはもう今にもこぼれ落ちてきそうなくらいたくさんの星が輝き、天の川もはっきりと真っ白に見ることが出来ます。またほんの数秒、空を見上げているだけでも、一つまた一つと願い事が追いつかないくらいたくさんの流れ星を見ることが出来ます。そんな流れ星を見ると私はいつも歌手の“MISIA”さんが歌う「流れ星」という曲を思い出します。TBS系のドラマ「JIN -仁-」の主題歌にもなっていたのでご存知の方も多いかと思いますが、その歌詞に

みんなひとつひとつの光を抱いて生まれてきたんだ。

どうか君を信じて 命いっぱい輝いて。君が有りのままで そのままで愛される日が来ますように…

(中略)

みんなひとつひとつの光があるからこんなにきれいなんだ

君が笑ってくれたら 僕の命は輝く。君が有りのまます そのまます愛する日が来ますように…

という一節があります。

今は、人と違うことを言ったり、違うことをしたりする事が少しづらいい世の中だと思います。否定されたり偏見にさらされることで自己肯定感を失ってしまったり、この世の中に自分の居場所はないんだと思い詰めてしまったり、さまざまな生き難さを感じている子どもが増えています。そういう時代だからこそ、子どもたちそれぞれの良いところ、例えば優しくったり、色んなことに気づくところとか、人と違うユニークな発想が出来るとか、明るく楽しいところとか、シャイなところとか、そういったそれぞれの個性（ユニークなところ）や、素敵なところをしっかりと認め、守ってあげることがとても大切です。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。小学生になると人との違い探しが始まる子ども達もこの時期はまだ自分自身のことを知り、人との違いを違和感なく受け止められる発達の段階です。それぞれに違うところがあっても、それぞれに素敵なおところとして受け止め、まず自分を肯定し、そして同時に仲間を認め合うことの大切さを学ぶ時期でもあります。子ども達が大人となる約20年後の社会は今以上に多様な価値観や文化背景の異なる人々と共に働いたり生活をしたりする時代となっていることでしょう。人の良いところにたくさん気付ける人となって、一人ひとりのその人らしさが活かされるような世界を創造していける未来の担い手へと成長してくれることを願っています。

幼稚園統括園長
中嶋 謙仁

子どもたちの姿（7月）＊抜粋

年長は各自で育てている野菜の収穫をしました。立派なきゅうりを収穫した女の子が、「皆で食べてもいいよ！」と提供してくれました。それを皆で食べた時のこと「これおいしい～！あま～い(^)」「これはkちゃんのキュウリだから甘いんや」「Kちゃんが触ったからおいしいんや！」と…(^)とっても可愛いつぶやきが聞こえてきました。なんだかほっこり。

砂場で、長い竹を半分に切ったものを使って、色々なものを流して遊んでいました。水の含んだ重い土、サラサラな土、小石、木の実、水など、流れ方の変化を試し友達に教えたり、まねしたりしながら年中、年少と、異年齢でかかわっていました。竹の高さを変えたらもっと流れるんじゃないかと年少さんが提案。年中がカゴやバケツを使って高さを工夫していました。子ども達のアイデアを大切に、うまく水が流れない理由など一緒に驚いたり考えたりしながら泥んこで遊ぶ姿。

お水が大好きなこどもたち、手を洗いながらジャージャーお水を出してささやかな水遊び!? プールのお水がなくなるよ！と言うと慌てて止める姿が可愛いです。いよいよ待ちに待ったプール開きの日、嬉しそうにプールバッグを持って登園、待ちきれなかったのか朝から水着を着てキャップまでかぶっていたCちゃんでした。雨が降ると外を眺めて「今日プール入れる？雨降ってるね」などと呟いているこどもたち… 晴れる日が待ち遠しい！

窓を開けていると風がピューッと吹いてきて、子どもたちが作って壁に飾ってあった雨雲の雨粒がパラパラと揺れました。その瞬間子どもたちは「おへやにも雨ふってきたー！」「ようちえんの中だけ雨ふつとる！」とニコニコと雨粒が揺れる様子を眺めていました。大人だったら何気なく逃してしまいそうな瞬間なのに、子どもたちの自由な感性・かわいらしい表現に癒されました。

雨の日の発散として新聞遊びをしました。遊んだ後、散らかった新聞を白色のゴミ袋にまとめて顔を貼り、巨大でてる坊主の完成☆ お部屋につるしておく「テレテレ坊主やー!!」とその絶妙な聞き間違い!?にほっこり♡ さらに風に揺れてあっちを向くと「あっ!!照れとるー(^)」となんとともかわいい発想&表現でした。

7月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートします。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」などお子さまとコミュニケーションしたり、同様の視点でお子さまと接していただくことで、お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

- | | |
|----|---|
| 年長 | いろいろな遊びをする中で、自分なりに試したりチャレンジしたりする楽しさを味わう
動植物の生長に興味、関心を持って関わり、気づいたことを伝える合おうとする |
| 年中 | 保育者や友達と一緒にしたい遊びやプール遊びを十分に楽しむ
身近な夏の自然を見たり触れたりして興味関心を持つ |
| 年少 | 夏の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする
友だちや先生とプールや水遊びなど夏ならではの遊びを十分に楽しむ |

プール活動が始まりました。

7月に入りプールからも子ども達の賑やかな声が聞こえてきます。さてこれまでもお子さんの体調がすぐれない場合はプールカードでお休みされる旨をご連絡を頂いていますが、今年度より衛生面のさらなる強化のため普段オムツを履いているお子さんについては、プール用のオムツを着用してその上から水着を着るようにしたいと思います。該当されるお子さんにつきましてはドラッグストア等で購入して頂き、プールの日には必ずプールバッグに入れて持たせて頂きますようお願い致します。なおプール活動日の検温と検温結果のプールカードへの記入もお忘れなく。

夏季の服装について。

登園後、子ども達は制服から体操服に着替えますが、夏季制服の期間中は園内でより涼しく過ごせるよう、薄手の普段着（Tシャツやタンクトップなどで、汚れてもいい服装）を着用しても結構です。なお、ズボンは今ままでおり体操ズボンを着用して下さい。